

豪華なショップも一発開業！

Photo : Nakamura Tohru

通販サイト作成ソフト 購入ガイド

インターネットに自分だけのお店を持つ。そんな思いをかなえてくれるソフトやサービスが充実してきた。通販サイト作成ソフトを使って、手軽にオンラインショップを始めてみよう！
梶 浩和



通販サイトを作る環境の変化

現実の世界で、自分の店を持つのは大変だ。出店する場所を探し、内装や外装を手配し、商品を仕入れ……これでようやくお店を開ける。さらに営業時間内はずっと店内にいなければならず、掃除やディスプレイの変更などのメンテナンスも欠かせない。

もっと手軽に自分だけのお店を持つのがインターネットだ。通信販売を行う「オンラインショップ」サイトなら、現実のお店より手軽に始められる。とはいえ、企業が運営するもののように、充実した通販サイトを作るのは難しかった。ある程度形が見えるサイトはできても、「ショッピングカート」や「受注メールの自

動送信」などの便利な機能を実現するにはHTMLやCGIスクリプトなどの知識が欠かせなかったからだ。

難しかった、欠かせなかった…など、過去形で書いたにはわけがある。最近では、通販サイトの作成環境はだいぶ変わってきた。通販サイトを作るための専用ソフトが数多く登場してきたからだ。専用ソフトには、「HTMLやCGIがわからない」、「FTPって何のこと？」という人でも充実した通販サイトを作れる機能が搭載されている。各ソフトの特徴を見極め、今年の夏はアナタもeビジネスに乗り出そう！

通販サイトの作り方は千差万別 作成ソフトと提供サービスを徹底比較

通販サイト作りを支援してくれるのは、専用ソフトだけではない。作成からメンテナンスまで面倒を見てくれるホスティングサービスや、登録するとウェブ上でお店を作れるショッピングモールもある。どのサービスにどんな特徴があるのか、比較してみよう。

手軽にできる作成ソフト

構えず気軽に始められるのが、通販サイト作成ソフトが持つ最大の利点だ。すでに加入しているプロバイダーが商用目的のホームページ作りを認めているなら(318ページ参照)、最初にかかるお金はソフト代だけ。プロバイダーを乗り換えたとしても、ソフト代とその費用だけで済む。サイトの中身は自由に作れるし(一定のルールはあるが)、思い切った内容変更もしやすい。さらに、維持費もほとんど必要ないといいいことづくめのように思える。決済システムは郵便振替や代引き、銀行振込が標準で、It's eShopはアコシスとスマッシュに対応している。

ただし、サイトの作成や維持、管理は自ら行う必要があるため、手間がかかるのは覚悟しておきたい。また、ある程度ホームページ作りの知識も必要だ。

トータルで任せるなら ホスティングサービス

専用サーバスペースの維持や管理を行ってくれるのがホスティングサービスだ。ホームページの作成から管理までを代行してくれるところも多い。このサービスを利用して通販サイトを開設するメリットは、「すべて任せられる」ということ。現実のお店でいえば、製品開発以外のすべてを任せてしまえるということになる。手間をかけたくない人には最適だ。反面、有料サービスなのでコストがかかるという欠点もある。決済システムは自分で用意するか、別料金でシステムを構築してもらう必要がある。初期費用が発生するので「ちょっとやってみるか」と気軽に始めるわけにはいかないし、ショップが軌道に乗るまでの維持費も馬鹿にならない。本腰を入れて経営に取り組みたい人向きだ。

集客第一! しかも簡単 ショッピングモールの登録

インターネットには、複数のオンラインショップが集まったショッピングモールがある。こうしたモールのなかには、通販サイト作成ツールを提供しているところもある。@niftyの「ショッピング・アット・ニフティ」などだ。ツールを使えば、HTMLの書き方がわからなくても通販サイトを作って登録できる。用意された決済システムを使えば、代金の回収もラクにできる。そのうえ、店舗が集まっているので集客効果が期待できるし、手間もかからない。すぐに商売を軌道に乗せたい人に向いているといえるかもしれない。

ただし、こうしたツールでは作成できるウェブサイトのフォームが決まっていることが多い。オリジナリティを重視したい人には向いていないかも。

通販サイト作成ツール十番勝負

項目	作成ソフト	ホスティングサービス	ショッピングモール(楽天市場など)
オリジナリティ	一から自分で作ることもできる	自分の意図を制作者に伝える必要がある	× フォーマットが決まっているサイトが多い
サイト作成にかかる手間	ホームページ作りの知識が必要	すべて任せられ、何もなくてもOK	× トップページは簡単だが、ほかは自分で作る
サイト作成にかかるコスト	ソフトの購入費用だけ	× 初期費用は馬鹿にならない	× 登録費がかかるサイトがほとんど
機能の充実度	~ ソフトの種類による	× ショッピングカートなど、多彩な機能	× 専用の仕組みを用意している
決済システム	~ 個人ではカード決済は無理	× 代金回収代行サービスを提供しているところもある	× サイト自体の決済システムを使う
サイト維持の手間	× すべてに目配りすることが必要	× 何もなくてもOKの場合もある	× 中身は自分でしっかり管理する必要がある
サイト維持にかかるコスト	× プロバイダーの利用料金と電話代だけ	× 定期的に維持費用が出ていく	× 登録料や報酬料などがかかる場合もある
サイト作成上のリスク	× コストがかからない分、気楽	× 売上と経費のバランスをシビアに見る必要がある	× 売上と経費のバランスをシビアに見る必要がある
顧客の信頼度	~ 個人サイトが信用を得るには時間がかかる	~ 個人サイトが信用を得るには時間がかかる	~ サイト自体の信用度による
集客効率	× 認知されるまで、地道な宣伝が必要	× 認知されるまで、地道な宣伝が必要	× ~ サイト全体の集客率がいいが埋もれる可能性がある



商品管理などの機能も豊富

作成ソフトで手軽に通販サイトを作ろう

安価なものから高価なものまで、通販サイト作成ソフトは複数のメーカーから発売されている。ここでは、各ソフトの違いや、一般的なホームページ作りに使われる「ホームページビルダー」などと比較したときの違いを紹介していこう。

一般のホームページ作成ソフトとの違い

通販サイトも、構造の基本的な部分はほかのウェブサイトと変わらない。ベースになるデータにHTMLタグを付け、複数の画像やHTML文書をリンクしてサイトを構成している。だから、普通のホームページ作成ソフトでも、通販サイトを作ることはできる。

市場には複数の通販サイト作成ソフトが流通している。専用ソフトの魅力は「特定コンテンツが作りやすい」ことだ。どんなサイトでも作れるという汎用性はない代わりに、商品の一覧表やショッピングカートのCGIスクリプトなど、固有のコンテンツを手軽に作れるようになっている。また、通販サイトの維持に欠か

せないデータベース機能(在庫管理・受発注管理・入金管理など)に関しても搭載しているものがほとんどだ。

ソフトの違いは対象ユーザー

一口に通販サイト作成ソフトといっても、複数のメーカーから何種類ものタイトルが発売されている。各ソフトともカタログを見ただけでは機能面の大きな違いはないように思える。しかし、実際に使ってみると各ソフトの作り方は明らかに異なる。

もちろん、対応する決済方法の種類やテンプレートの数など、スペック上の違いもある。だが、一番大きな違いは「どこまでユーザーをフォローするか」だ。それぞれのソフトは通販サイトを簡単に作れるといっているものの、実際に作業するユーザーに求める「レベル」に差がある。「マイ・通販」のようにホームページ作りの基礎知識があるユーザーを対象としたものもあれば、「通販開業」のようにまったく初めてという人向けに至れり尽くせりの機能を付けたものまで、要求するレベルの差は意外に大きい。実際にソフトを購入する際には、自分のレベルを考え、それに応じたものを選ぶようにしたい。

作成ソフトを使って、通販サイトを開く

前述したとおり、通販サイト作成ソフトは、オンラインショップに特有のコンテンツを手軽に作れるようになっている。ここでは、作成ソフトを使った通販サイト開設までの流れを、実例を交えながら紹介していこう。なお、各ソフトの操作体系は非常に個性的だ。同じ作業をするときの方法がソフトごとに異なるのはあたりまえで、サイトを作っていく順番自体がまったく異なる場合もある。ここでは、各ソフトに共通する手順を紹介するが、実際にソフトを使う場合にはマニュアルをしっかりと参照して作業してほしい。

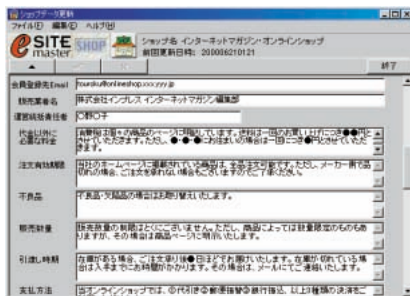
① テンプレートで構成を決める

サイト作りのスタートは、どのテンプレートを使うかを選ぶところから始まる。通販サイト作成ソフトのほとんどは、あらかじめ提供されたテンプレートを利用してコンテンツを作っていく。ソフトに収められているテンプレートの数はタイトルごとに異なり、10種類程度のものから100種類を超えるものまである。テンプレートの数 = オリジナリティというわけではないが、作るサイトのバリエーションが広がることは事実だ。

テンプレートを選んだら、内容を入力していく。ほとんどのソフトで、ウィザード形式を採用。変更したいパーツ(トップページのタイトルなど)をクリックすると別ウィンドウが開き、入力すべき項目を表示してくれる。質問に答える形で内容を埋めていけば、サイトを構成する各ページができ上がっていく仕組みだ。



<商品情報の編集画面>(「通販開業」)
一覧形式でキレイに並べた商品情報など、通販サイトに特有のコンテンツを手軽に作れるのが、作成ソフトの大きな魅力。



<「訪問販売法に基づく表示」を編集>(e-SITEmaster)
通販サイトには、法律上掲載を義務付けられている項目がある。作成ソフトには、表示項目を入力するテンプレートも用意されている。



<初期設定画面>(「通販開業」)
簡単といわれる作成ソフトでも、CGIへのパスやsendmailへのパスなど、ユーザーが知っておくべきことは多い。

Product Showcase



② 商品データを編集する

通販サイトで集客に貢献する「顔」はトップページだが、実際に訪れたユーザーにとって大切なのは商品を表示するページだ。売れる通販サイトを目指すなら、商品情報を過不足なく、かつ美しく表示したい。通販サイト作成ソフトには、商品データを編集して表示するのに便利な機能が数多く搭載されている。商品ごとにIDを付けて管理を簡単にしたり、商品を画像と説明入りで一覧表示したりする機能などが用意されている。新製品やオススメを別途表示する機能もある。データ編集もウィザード形式で行えるソフトが多く、作業は簡単だ。

③ ショッピングカート機能

ある意味で、通販サイトにもっとも必要とされる機能がショッピングカートだ。いくら商品がキレイに並べられていても、その名称やIDなどをいちいちメモしてメールで送信してもらうなどというのでは、意味がない。気に入った商品をその場で購入してもらうためにぜひ欲しい機能だ。ほとんどの作成ソフトに、この機能を実現するCGIスクリプトを自動的に生成する機能が付いている。作成中はCGIを特に意識することなくサイト作りを進められる。



<テンプレートの選択>(ShopFactory)
あらかじめ用意されたテンプレートを使って、各ページを作っていく。テンプレートの数や内容は、ソフトごとに異なる。

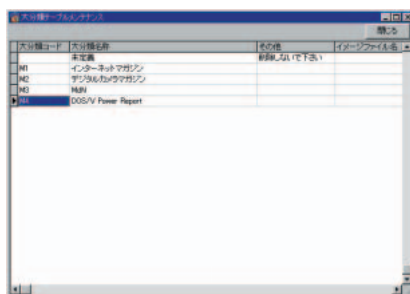
④ FTPでデータをアップロード

サイトに必要なコンテンツを作ったら、サーバーにアップロード。だが、手でFTPというのは意外に面倒だ。今回紹介するすべてのソフトには、自動でFTPを行ってくれる機能が搭載されている(別ソフトに分かれているものも含む)どれも、最初にサーバー名やアカウント、パスワードなどを指定しておく必要があるがあとは更新のたびにボタン一発かドラッグアンドドロップでFTP作業は終わる。ユーザーにかかる負担は、どのソフトも極めて少ない。

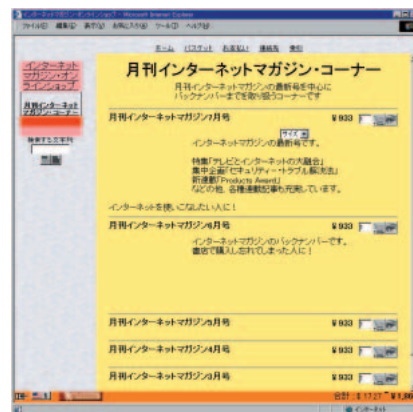
⑤ 受注から発送、入金までを管理

リピーターを増やし、店舗の経営を安定させていくためには、ユーザー管理が欠かせない。発注メールが届いたらただちに受注確認のメールを出すべきだし、発送時にもメールを送信するくらいのはしたい。作成ソフトには、こうしたメールのやりとりを自動化してくれる機能を持つものもある。

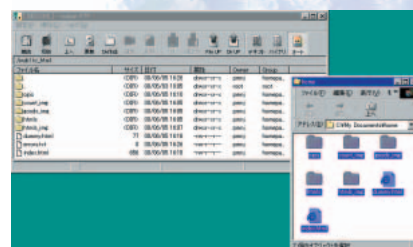
また、ショップの経営に役立つ管理機能も豊富だ。顧客との取引ごとに受注状況や発送状況、入金情報などを一括管理できる機能を持つソフトが多い。マイクロソフトアクセスなどのデータベースとの連携を考慮したソフトもあり、サイトの管理もラクになる。



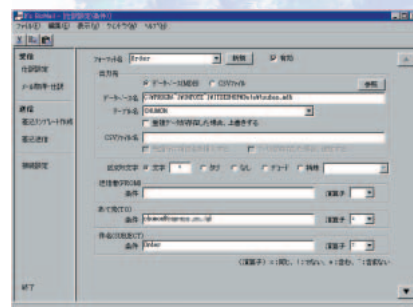
<商品データ編集>(e-SITEmaster/SHOP)
データベースなどを使った商品管理を行いやすいため、IDを付ける。あらかじめ分類方式が決まっているソフトもある。



<ショッピングカート>(ShopFactory)
商品データの脇に付けられたアイコンがショッピングカートを表す。欲しいと思った商品をすぐに購入してもらるようにしよう。



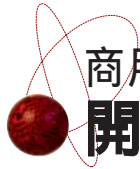
<FTP>(「通販開業」に同梱のtsuhan FTP)
完成したデータを丸ごとドラッグアンドドロップするだけでFTP作業が終了する。作成ソフトならFTPにかかる手間はほとんどない。



<発注フォーム>(「It's eShop」に同梱のIt's BizMail)
顧客から届いた商品の発注メールを、自動的に仕分けするソフトもある。また、受注メールを自動的に送信してくれるソフトもある。



<データ管理>(「It's eShop」に同梱のIt's Tsuhan)
店舗運営に欠かせない各種のデータ管理機能を持つソフトがほとんど。手間を省き、効率の良い情報管理ができる。



商用利用を禁止しているプロバイダーもある 開業前に気をつけたいサーバーの条件

ソフトを使ってデータを作っただけでは、お店は開けない。ネット上に公開するには、プロバイダーのサーバーがオンラインショップに対応していることが必要になる。オンラインショップ開設にあたってチェックしたい項目を紹介しておこう。

プロバイダーのウェブサーバー 利用条件をチェック!

通販サイト作成ソフトを使えば簡単にサイトを作れるが、実際にインターネット上で公開するためには、加入しているプロバイダーがショップの開設に対応しているかどうかをチェックしたい。大手プロバイダーのなかには個人のホームページで営業活動することを禁じたり、制限を設けたりしているところもある。このような場合は開設できないので、ほかに乗り換える必要も出てくる。

また、ショッピングカートなどの機能を実現するためにCGIスクリプトをサーバーに置くことが多い。セキュリティ面の問題から、多くのプロバイダーではユーザーが独自に作成したCGIスクリプトの利用を禁止している。事前のチェックは忘れずに。

制限が少ない レンタルサーバーを使う

商用利用やオリジナルCGIの利用を認めているプロバイダーでも、表記法やCGIスクリプトの置き場所(ディレクトリー)に制限を設けているところがほとんどだ。場合によっては、

通販サイト作成ソフトを利用して完成させたCGIスクリプトがうまく起動しないなどということもある。もちろん、自分でスクリプトを書き直せる知識がある人ならいいが「簡単に作れる」のが魅力のソフトを使っていて、CGIに悩まされるようでは本末転倒だ。

こうした制限に悩まされずに通販サイトを開きたいなら、レンタルサーバー(ホスティングサービス)を利用しよう。大手プロバイダーよりも緩やかな利用条件を提示しているし、コストも思ったほど高くないので、検討の余地はあるだろう。

個人情報とセキュリティーに注意!

通販サイトを運営するときに気をつけたいのが、カード情報などのセキュリティー面の管理だ。最近はインターネットを介した個人情報の漏洩が大きな問題となっている。顧客に信頼してもらい商品を安心して購入してもらうためにも、個人情報の管理には細心の注意を払いたい。顧客から見てひとまず安心できるのがSSL機能を備えたサーバーを使うこと。レンタルサーバーにはSSL機能に対応したものが増えてきた。こうしたサービスの利用も考慮したい。

大手プロバイダーの商用利用とCGIへの対応状況

プロバイダー名	商用利用	CGIの使用	自作SSI	使用可能言語	パス
@nifty			×	Perl、シェルスクリプト(sh)	#!/usr/local/bin/perl
BIGLOBE			×	Perl、sh、csh	#!/usr/local/bin/perl5
DION		×	×	-	-
DreamNet		×	×	-	-
DTI		×	×	-	-
OCN		×	×	-	-
ODN		×	×	-	-
Panasonic Hi-HO				Perl、sh、csh	#!/usr/local/bin/perl
So-net		×	×	-	-
ぶらら	×			Perl、sh、csh	#!/usr/local/bin/perl

内容に制限あり

主なホスティングサービスプロバイダー

サービス名	初期費用(円)	転送量制限	最低期間	OS	ウェブ容量	CGI	SSI	シェル	ホームページ作成キット	自動応答メール	フォームデコード	アクセスカウンター	SSL対応	
	月額料金(円)													
AIR インターネット www.air.ne.jp	10,000円~ 5,000円~	-	1年	UNIX	無制限	Perlのみ	×	×	×	×			×	1
ASAHI ネット www.asahi-net.or.jp	5,000円 / 10,000円 2,200円 / 2,800円	-	2か月	UNIX	50MB		×	×	×	×				商用サイトのみ利用可
BEKKOAME SQUARE www.bekkoame.ne.jp	10,000円 2,000円	-	1か月	UNIX	50MB				×					100 / 200のみ対応
GOL (ウェブレンタル) www.gol.com	20,000円 8,000円~50,000円	300MB / 月~	1年	UNIX	50MB ~ 100MB				×	×				オプション
SPPD(個人・商用) www.sppd.co.jp	1,500円 2,400円~9,800円	-	3か月	UNIX	10MB ~ 100MB				×	×		オプション	要相談	
SRSさくらインターネット www.sakura.ad.jp	なし 2,000円 / 5,000円	-	2か月	UNIX	100MB				×					×
WebARENA(個人) www.arena.ne.jp	5,000円 3,500円	-	3か月	UNIX	25MB			×	×	×				オプション
ネクストウェブ www.next-web.ad.jp	15,000円~24,000円 3,600円~15,000円	-	1か月	UNIX	50MB ~ 200MB						掲示板のみ			独自ドメインでの運用
ネットラピュタ www.netlaputa.ne.jp	10,000円 7,000円 / 17,000円	345MB / 日	6か月	UNIX	50MB / 100MB			×	×	×				×
ラピッドサイト www.rapidstite.co.jp	10,000円~70,000円 4,500円~70,000円	2GB / 月~	1か月	UNIX	20MB ~ 200MB				2					オプション

1 このほか、SSI、シェル、telnet、SSLに対応しているホスティングサービスもあり 2 シェルが使えるのは月額70,000円のコースのみ



充実のテンプレートからデータ管理機能まで 通販サイト作成ソフト製品ラインナップ

現在市販されている通販サイト作成ソフトの使い勝手を検証してみた。個々のソフトごとに搭載している機能も、その操作体系もまったく異なっている。使うアナタの好みに合わせて選びたいところだ。

注意：各ソフトの 数は筆者の独断によるものです。

通販開業 Power Version 1.00

もっともコストパフォーマンスのよい通販サイト作成ソフトがコレ。2万円を切る価格ながら、通販サイトの作成に必要な機能がほぼすべて揃っているといっている。

ソフト自体は2つに分かれており、ページの作成作業は「通販開業」で行う。最初に作成するのはトップページのみ。これを別ソフトの「tsuhan FTP」でサーバーにアップロードし、ほかのページはすべてインターネットエクスプローラ5などのブラウザで作成していく。コンテンツの中身を作り込む作業はすべてウィザード形式になっていて、ホームページ

作りが初めてという人でも安心だ。ただし、各ページのデザインフォーマットが1つしかない。通信環境によっては作業に重さを感じるなどの欠点もある。



<ウェブ上での編集画面>
トップページ以外の作成は、すべてブラウザで行う。



機能の充実度
直感的な使いやすさ
マニュアルの充実度
サイトのオリジナリティー

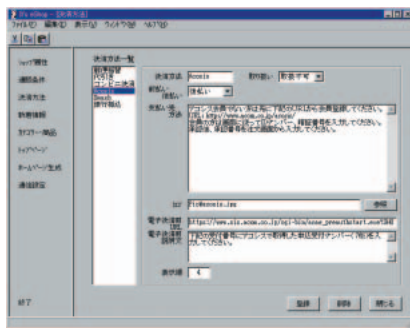
<完成したサイト>
ひな型が1種類しか用意されていないのは寂しいところだ。



It's eShop

サイトを構成する各ページを作る「It's eShop」、受注メールなどの送受信を行う「It's BizMail」、データベースソフトの「It's Tsuhan」という3本のソフトが、1つのパッケージに収録される。サイトの作成にはウィザード形式を採用。画面に表示される項目を1つ1つ埋めていけば通販サイトが作れる。最初は項目の内容がつかみにくいですが、プレビューを見ながら作業を進めていくと、初心者でもすぐに慣れてしまうはずだ。

注目したいのは対応する決済方式の多さ。銀行振込や代引きだけでなく、アコシスやスマッシュなどのオンライン決済にも対応しているのはうれしいところ。また、顧客からのメールを自動的に仕分けしてデータベース化するなど、かゆいところに手が届くソフトとなっている。



<決済方法設定>
決済方法が豊富に揃っているのは、このソフトの魅力。



<完成したサイト>
テンプレートは豊富だが、画像サンプルはなし。自分で用意しなければならない。

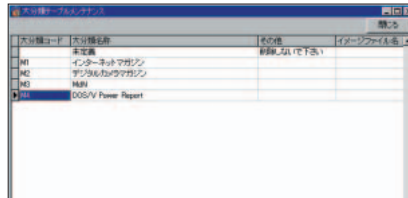
機能の充実度
直感的な使いやすさ
マニュアルの充実度
サイトのオリジナリティー





e-SITEmaster/SHOP Ver.1.0

本格的に「開業」を考えている人におすすめしたいソフト。ソフト自体の機能が充実しているのはもちろん、開業にあたって行うべき準備作業まで、マニュアルには網羅されている。記載されたとおりに進めていけば、完成度の高いショップになるはずだ。中古車、不動産、アパレル用のデータベースが付属しているので、同業種のサイトを作るには最適といえる。ただし、性能に見合った、やや高め価格設定となっている。



<商品データ仕分け画面>
データ管理機能は秀逸。サイトの運営効率は上がるはず。

- 機能の充実度
- 直感的な使いやすさ
- マニュアルの充実度
- サイトのオリジナリティ



メーカー : リップジャパン株式会社
標準価格 : 60,000円
問い合わせ : 03-5744-7171
Jump www.ripjapan.co.jp

ShopFactory Professional版

22か国語に対応したページを作れたり、度量衡の換算も行ってくれたりするなど、海外向けサイトも作れるソフト。サイトの構造表示などはマイクロソフトフロントページと似たテイストになっていて、直感的にわかりやすい操作体系だ。機能面は充実しており、多くのテンプレートがあるほか、クレジット決済に対応していたり、ページごとに割引率が設定できたりなど、本格的な法人での使用にも向いている。



<売り場設定画面>
商品は「売場」という単位で管理する。各売場ごとに細かい設定ができる。

- 機能の充実度
- 直感的な使いやすさ
- マニュアルの充実度
- サイトのオリジナリティ



メーカー : エクセルソフト株式会社
標準価格 : 48,000円
問い合わせ : 03-5440-7875
Jump www.xlsoft.com

ホームページ制作王2001 eコマース編

豊富なテンプレートを利用してホームページを作成する「ホームページ制作王」に、通販サイト作成の対応バージョンが登場する。「インターネット・ストア」と名付けられた21のテンプレートを使ってサイトを作る。全体の操作方法は、元のバージョンと同じ。FTPのしやすさも含め、サイト作りが初めての人でもわかりやすい。

ソフト自体にショッピングカートや決済システムに対応する機能はない。株式会社Eストアが提供する「storetool」^{Jump}と完全提携しており、その仕組みを利用して顧客の便宜を図る。設定の自由度は少ないが、自

分で独自の設定をしなくて済むのでラクだ。機能を限定したぶん、価格を安く抑えている。

Jump www.estore.co.jp

<完成したサイト>
サンプルページ程度の内容なら、10分もあれば作れる手軽さ。

- 機能の充実度
- 直感的な使いやすさ
- マニュアルの充実度
- サイトのオリジナリティ



メーカー : 株式会社ジャングル
標準価格 : 9,800円
問い合わせ : 03-3234-2102
Jump www.junglejapan.com

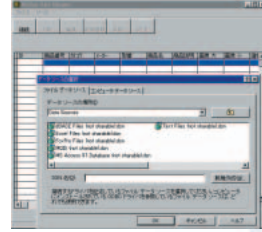


マイ・通販 1.0

メーカー：株式会社総合ビジネスアシスト
 標準価格：49,800円
 問い合わせ：052-204-0505
 Jump www.aba-inc.co.jp

ほかのソフトとは異なり、ウィンドウズNTなどを利用したサーバーを自分で運営している人向けのソフト。自前のサーバーにインストールして利用するため、当然FTP機能などはない。サイトの作成機能自体は標準的なもの。特徴的なのはマイクロソフトアクセスなどのデータベースソフトと連携できる添付ソフト。在庫や顧客データの管理に、大きな威力を発揮してくれる。マニュアルの記述内容の少なさに、初心者には手を焼くかも。やや上級者向けのソフトといえるだろう。

<データベース機能画面>
 強力なデータベース機能が、この製品の持つ最大の特徴であり魅力だ。



- 機能の充実度
- 直感的な使いやすさ
- マニュアルの充実度
- サイトのオリジナリティ

通販サイト作成ソフト主要機能一覧表

製品名	通販開業Power Version 1.00	It's eShop	e-SITEmaster/SHOP Ver.1.0	ShopFactory Professional版	ホームページ制作王2001 eコマース編	マイ・通販 Ver1.0
製品写真						
メーカー名	株式会社クエスチョンズ	インフォテックニカ有限公司	リップジャパン株式会社	エクセルソフト株式会社	株式会社ジャンгл	株式会社総合ビジネスアシスト
標準価格(税別)	19,800円	24,800円	60,000円	48,000円	9,800円	49,800円
販売価格(税別)	15,800円(オンライン価格)	19,800円(直販価格)	49,800円(直販価格)	43,800円	7,350円	39,000円~43,000円
問い合わせ先	011-614-4844	0776-52-7355	03-5744-7171	03-5440-7875	03-3234-2102	052-204-0505
対応システム(サイト作成用PC)	対応OS Win95/98/NT	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95OSR2/98/NT4.0/2000	Win95/98/NT4.0/2000	WinNT4.0以降(SP3)
推奨CPU	Pentium以上	Pentium 200MHz以上	Pentium 90MHz以上	Pentium以上	Pentium 133MHz以上	Pentium以上
メモリ容量	16MB(32MB以上推奨)	64MB以上	32MB以上	32MB以上	64MB以上	32MB以上
ハードディスク容量	約10MB	30MB以上	20MB以上	100MB以上(OSによる)	50MB以上	200MB以上
ブラウザ	IE4.5以上/NN4.5以上	IE3.0以上	IE3.0以上/NN3.0以上	IE3.0以上/NN3.0以上	IE4.0以上/NN4.0以上	IE3.0以上/NN3.0以上
その他必須条件	-	-	-	-	-	常時接続環境、IIS、ASP
対応システム(サーバー)	UNIX系OSを実装Perl/CGI/sendmailが使用可能/.htaccessがなくとも動作すること	フォームメール送信CGIが利用できるサーバー推奨だが、対応していなくても利用可能	フォームメール送信CGIが利用できるサーバー	指定なし	指定なし	WinNT4.0以降(SP3)
ホームページ作成機能	基本手順 テンプレート数 アクセスカウンター 訪問販売法に基づく情報の表示	定型フォームを利用して作成 30 1 x(カスタマイズで)	定型フォームを利用して作成 15 4 x(カスタマイズで)	定型フォームを利用して作成 52 x	定型フォームを利用して作成 44(eコマース以外49) x	定型フォームを利用して作成 1 x
商品紹介ページ作成機能	商品ジャンル編集 商品説明編集機能 商品画像表示 新着情報作成機能 ショッピングカート		複数の商品引き継ぎ機能なし x(Ver.2.0で搭載予定)	x「スペシャル」で対応	x	
メール送信受信機能	注文メールの形式 受注メールの送信 発送メールの送信	sendmail 自動送信 自動送信(It's BizMail)	フォーム フォーム 手動送信	通常のメール 自動送信 手動送信	通常のメール/フォーム* 自動送信* 手動送信	データベースに直接注文受付 x x x
FTP機能		(Tsuhan FTP)				x
データベース機能	在庫管理 受注管理 顧客管理	x 2 (It's Tsuhan) (It's Tsuhan)	x 5 x 5 x 5	x x x	x * *	x * *
支払い・配送案内 対応する決済方法	作成方法 郵便振替 代引き 銀行振込 クレジットカード 電子マネー その他	項目を選択して作成	項目を選択して作成	項目を選択して作成	項目を選択して作成	項目を選択して作成
その他の機能	アクセスログ閲覧機能 問い合わせログ閲覧機能					
その他の関連サービス	通販開業支援ホームページ 通販開業ホスティングサービス 通販開業専用ショッピングモール		贈答対応 テンプレートカスタマイズ 受注データエクスポート機能	FAX注文用紙、XML対応 会員登録/申し込みフォーム 運用監視機能、 Ver.2でXMLを利用した高精度の総合検索サイトを開設予定	割引機能(全体/数量/売場単位)、22か国語対応 US\$など150通貨変換機能 無料SSLサーバーの提供	*マークが付いているものはEストアと契約した場合に利用可 Eストア、モールサービスと直結

1 サポートホームページで追加テンプレートをダウンロードできる
 2 在庫なしと商品登録した場合、商品を表示しないテンプレートはある
 3 入力項目のない決済方法を追加できる(コンビニ決済など)
 4 内容ごとに1種類ずつ用意
 5 Ver.2(7月末発売予定)で経理、販売、顧客管理パッケージと連携予定
 6 商品データのインポート・エクスポート機能、インポートデータの更新識別機能ほか
 7 クレジット会社と別途契約が必要



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp